



2014年度(平成27年3月期)  
第2四半期 決算説明会

エーザイ株式会社

2014年10月30日

*h/c*  
human health care

# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# 2014年度 われわれの成し遂げたいこと



## 成長軌道回帰に向けて3つの分野に資源投入を断行

グローバルブランド\*<sup>1</sup>の育成

プロダクト クリエーション\*<sup>2</sup>の加速

アジア・ストラテジックマーケット\*<sup>3</sup>の拡大

2015年度以降  
売上、利益ともに  
成長軌道回帰をめざす

## 2014年度 通期業績見通し

### 国内医薬品事業の復活

アリセプト・パリエットの  
新適応取得によるリバイバル

### 米国医薬品事業の成長

BELVIQ、Fycompaの拡大

◆ 売上収益	5,660億円
◆ 営業利益	530億円
◆ 当期利益	350億円
◆ 年間配当金	150円

\*1 Halaven、Fycompa、BELVIQ、Lenvatinib(承認前製品につき一般名で記載) \*2 Halaven、Fycompa、BELVIQ、Lenvatinib、E2006、BAN2401、E2609、Avatrombopag

\*3 カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、中東、オーストラリア

# 2014年度第2四半期累計 連結業績(IFRS)



(億円、%)

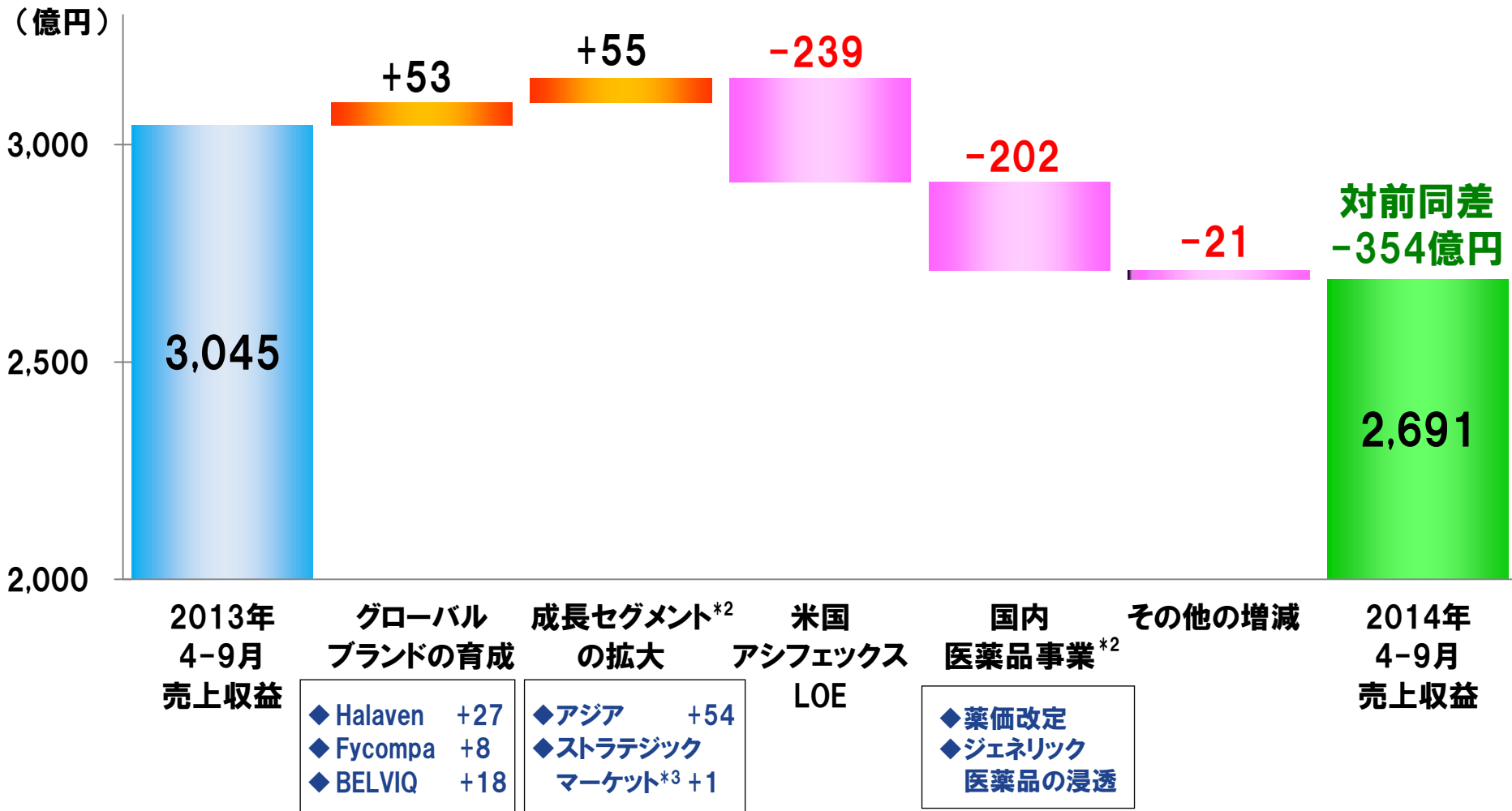
	2013年4-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	3,045	100.0	2,691	100.0	88
売上原価	933	30.6	938	34.9	101
売上総利益	2,112	69.4	1,752	65.1	83
研究開発費	678	22.3	621	23.1	92
販売管理費	1,014	33.3	947	35.2	93
その他の損益	29	1.0	△4	△0.2	
営業利益	449	14.7	180	6.7	40
四半期利益	305	10.0	105	3.9	34
Pharma EBIT*	1,127	37.0	801	29.8	71
中間配当金(円)	70		70		

\* Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

2014年度第2四半期期中平均レート: 米ドル:103.04円(前期変動率+4.24%)、ユーロ:138.91円(同+6.85%)、ポンド:172.73円(同+13.28%)

# 売上収益の増減要因分析

## 米国アシフェックスLOE\*1、国内事業の環境変化



\* 増減要因の数値は概数

\*1 Loss of exclusivity : 独占期間満了

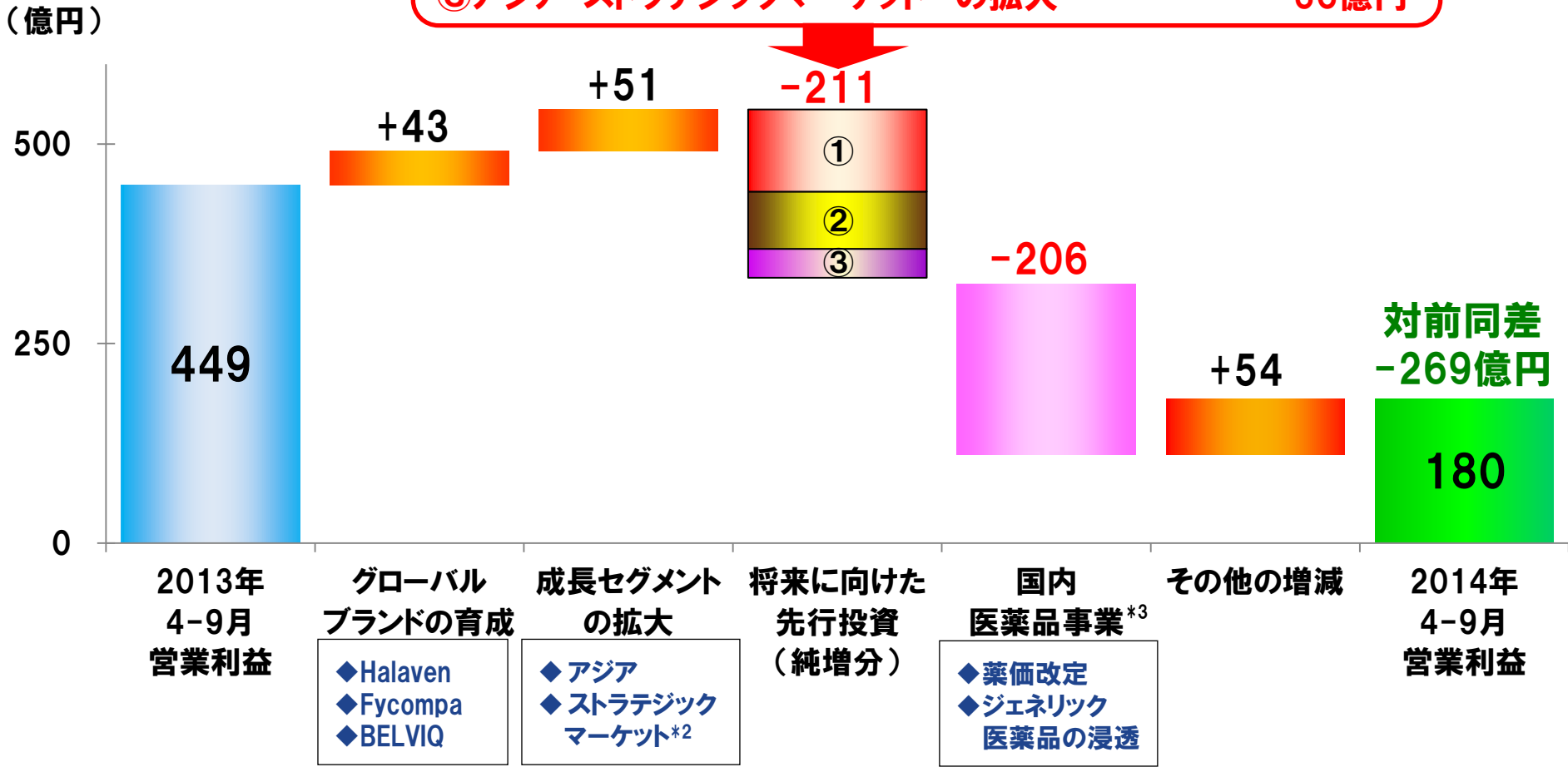
\*2 グローバルブランドの実績は除く

\*3 カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、中東、オーストラリア

# 営業利益の増減要因分析

## 2015年度以降の急伸拡大を企図した資源投入

- ①グローバルブランドの育成 103億円
- ②プロダクト クリエーション優先8パイプライン\*1の加速 72億円
- ③アジア・ストラテジックマーケット\*2の拡大 36億円



\* 増減要因の数値は概数  
 \*1 Halaven, Fycompa, BELVIQ, Lenvatinib, E2006, BAN2401, E2609, Avatrombopag  
 \*2 カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、中東、オーストラリア  
 \*3 グローバルブランドの実績は除く

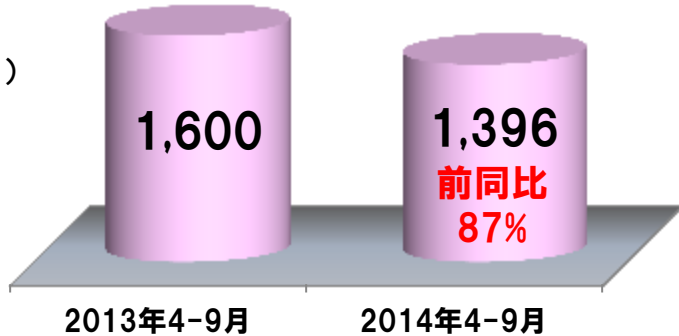
# 医薬品事業 地域別売上収益

## 日本を除く全リージョンで上期の売上収益計画をほぼ達成

### 日本\*1

- ◆薬価改定の影響
- ◆ジェネリック医薬品の浸透

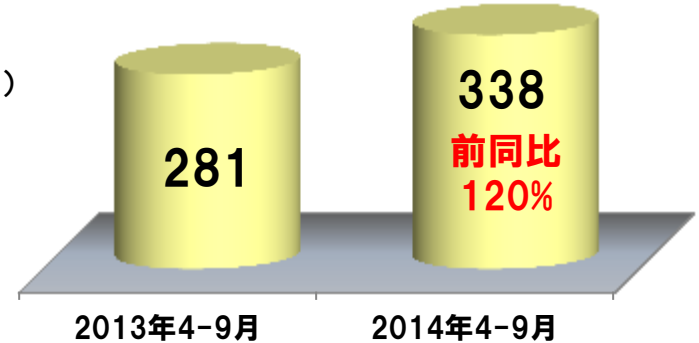
(億円)



### アジア\*3

- ◆中国、韓国が順調に拡大し、アジアを牽引
- ◆主力2製品(アリセプト・メチコバル)が伸長

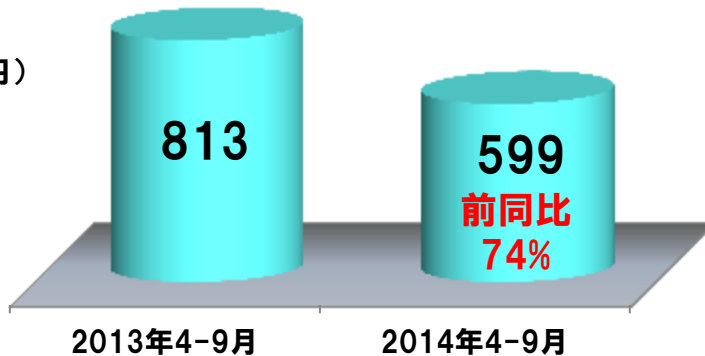
(億円)



### アメリカス\*2

- ◆アシフェックスLOEの影響
- ◆Halaven、Aloxiが順調に伸長

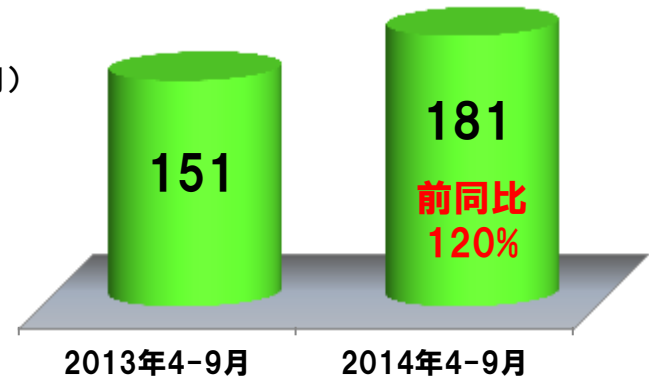
(億円)



### EMEA\*4

- ◆オンコロジー、てんかんフランチャイズが拡大
- ◆Halavenが前同比136%と伸長

(億円)



\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 \*2 北米、中南米 \*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン等 \*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

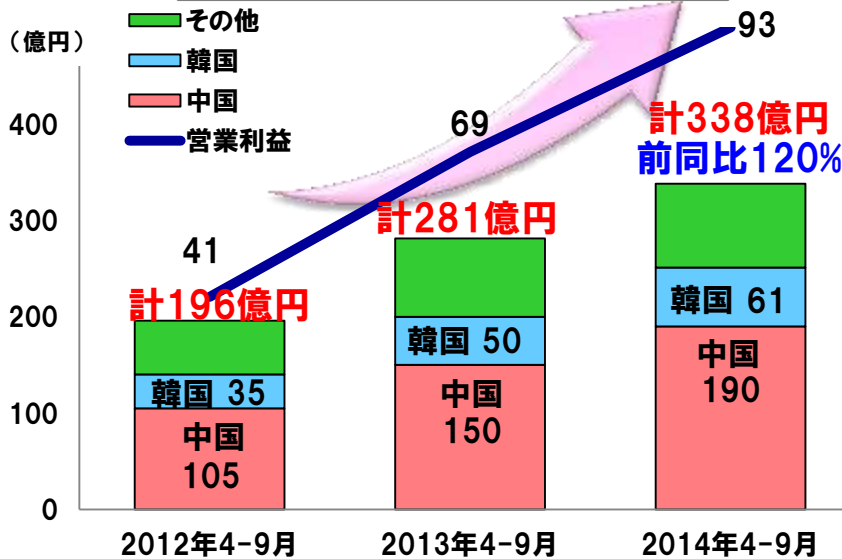
# アジア・ストラテジックマーケット\*1 アジアの伸長とオーストラリアの事業始動



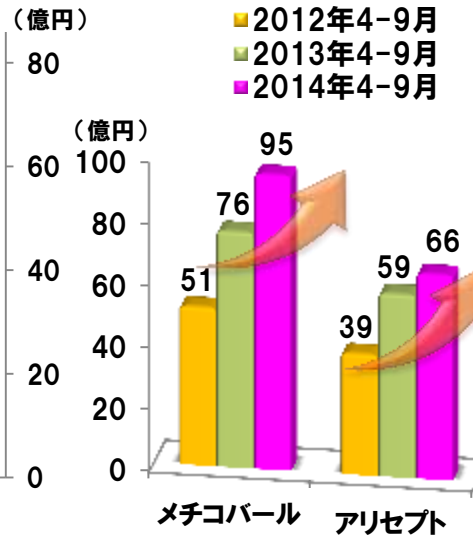
## アジア

### 中国と韓国、主力製品が牽引し続伸

アジア 売上収益 営業利益推移



主力2製品 売上推移



### 新製品申請・承認状況

#### Halaven

8カ国\*2で上市済  
中国でフェーズIII試験進行中  
インドネシアで承認申請済

#### Fycompa

香港、台湾、マレーシア、  
シンガポールで承認取得  
5カ国\*3で承認申請済

## ストラテジックマーケット\*1



ロシア

Halaven、Fycompa、Zonegran上市済 患者様への貢献を拡大

メキシコ

Halaven 2014年度中の承認・上市予定、Fycompaを含む6品目\*4申請済

ブラジル

Halaven 第3四半期上市予定、Fycompa含む4品目\*5申請済

オーストラリア

Halaven 10月上市、Fycompa 5月承認取得済、近日中に上市を予定

\*1 カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、中東、オーストラリア \*2 シンガポール、韓国、タイ、香港、フィリピン、インド、マレーシア、台湾 \*3 フィリピン、タイ、インドネシア、インド、韓国  
\*4 Inovelon、BELVIQ、Decijen (Dacogenのメキシコ販売名)、Gliadel Wafer、Fycompa、Targretin \*5 Gliadel Wafer、Inovelon、BELVIQ、Fycompa



# アリセプト リバイバル

**2014年9月19日 世界初のレビー小体型認知症の効能・効果を取得**

平成25年10月31日付で申請のあった医薬品の製造販売の承認事項の一部変更を薬事法第14条第9項の規定により、申請の通り承認する。

ただし、同法第79条第1項の規定により別紙の通り条件を付する。

なお、当該一部変更に係る効能、効果、用法又は用量については、同法第14条の4第1項第1号ロの規定に基づき、

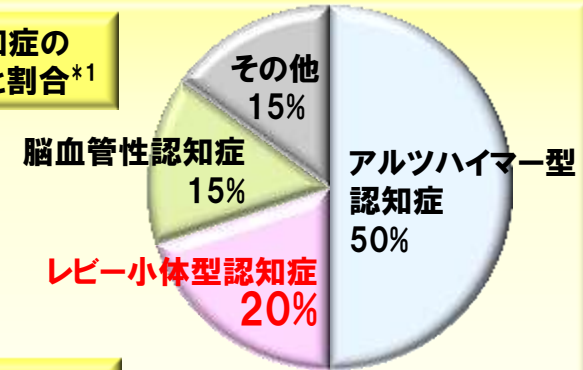
承認のあった日後**4年**を経過した日から起算して3ヶ月以内に再審査を受けるべき**新医薬品**に該当する。

## 2014年9月 世界初のレビー小体型認知症の効能・効果を取得

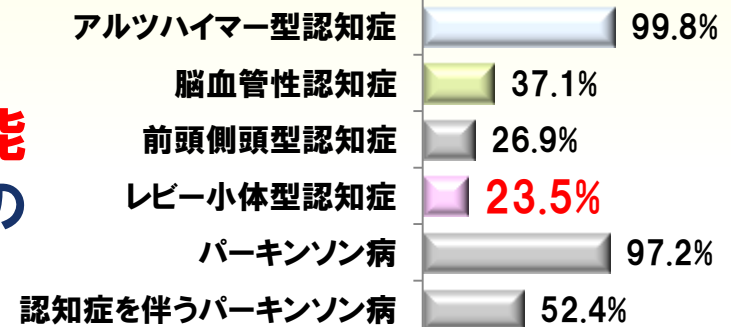
### レビー小体型認知症の特徴

- 横浜市立大学 小阪憲司名誉教授が発見
- 推計患者様数: 認知症高齢者の約20%<sup>\*1</sup>
- 疾患認知度が低い
- 進行性の認知機能障害に加えて、**認知機能の変動や幻視、パーキンソニズム**など特有の症状を示すため、**認知症と気づかれにくい**

認知症の種類と割合<sup>\*1</sup>



疾患認知度<sup>\*2</sup>



**認知症医療のパイオニアとして、レビー小体型認知症の正しい診断と治療・ケアを早期に定着させる責務を果たす**

\*1 出典:レビー小体型認知症がよく分かる本(小阪憲司 監修)

\*2 社外WEB調査からの推計(調査時期:2014年7月、調査対象者:40歳以上、男女618名(医療・介護従事者、調査・広告従事者は除外対象))

# アリセプト リバイバル

## 世界で初めて証明されたレビー小体型認知症に対する有効性

### ◆ 効能・効果(赤字が今回の追加部分)

アルツハイマー型認知症 **及びレビー小体型認知症**における認知症症状の進行抑制

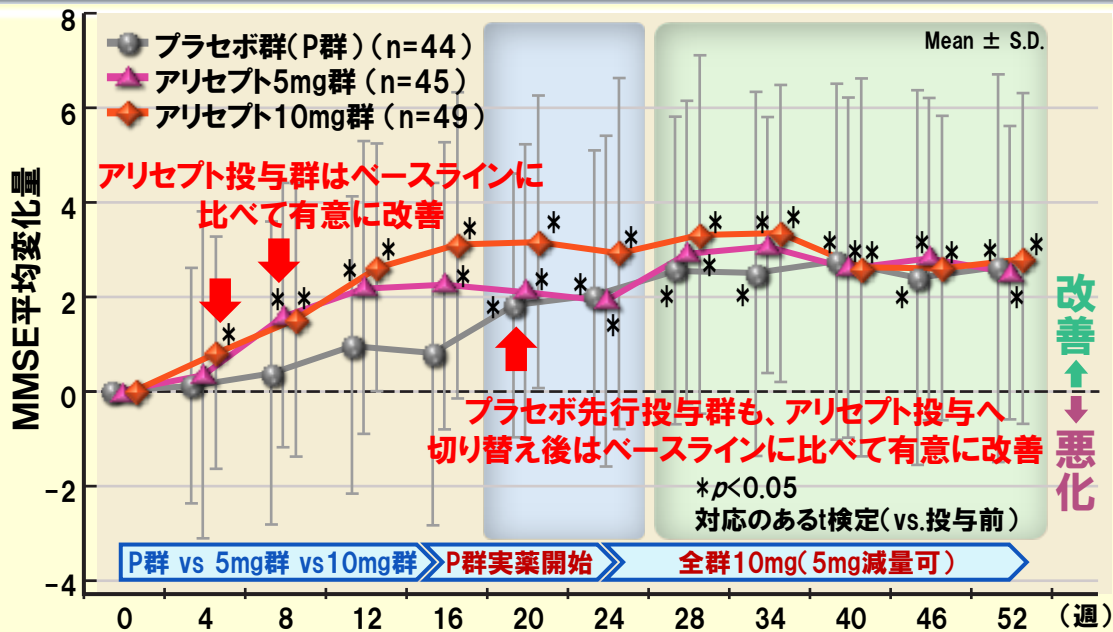
### ◆ 用法・用量\*1(レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制)

通常、成人にはドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し、経口投与する。5mgで4週間以上経過後、10mgに増量する。なお、症状により5mgまで減量できる。

### フェーズIII試験 臨床試験結果\*2 認知機能に対する効果 (MMSE\*3平均変化量)

➤ **少なくとも1年間にわたって  
レビー小体型認知症の  
認知機能障害の進行を抑制**

➤ **52週時点でのMMSEは  
有意にベースラインを上回る**



\*1 アリセプト錠、アリセプトD錠、アリセプト細粒、アリセプト内服ゼリー

\*2 精神症状・行動障害については、アリセプト投与群とともにプラセボ投与群でも改善がみられ、12週間投与最終評価時においては、両群に統計学的な有意差は認められなかった(有効性の検証及び安全性の確立を目的とした製造販売後臨床試験を実施予定)

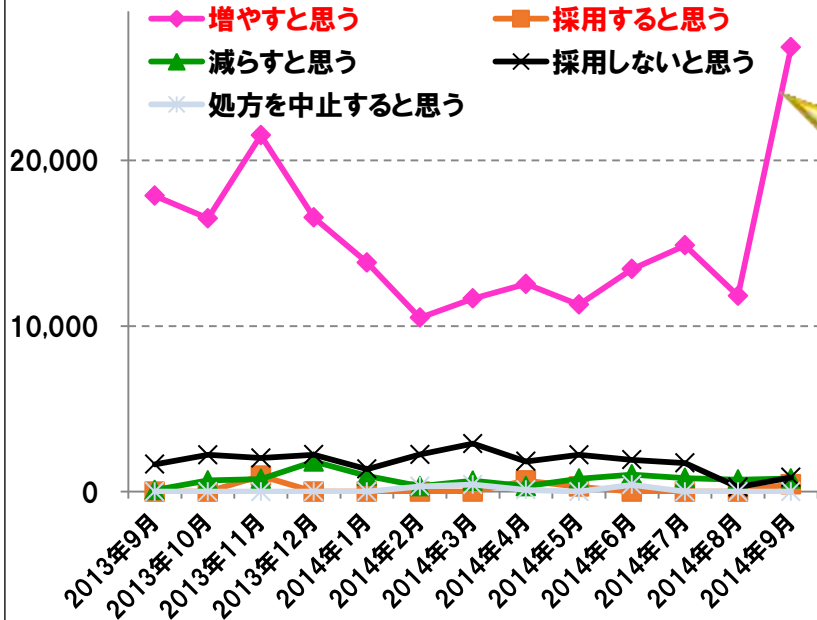
\*3 認知機能を評価するための検査

# アリセプト リバイバル

## レビー小体型認知症の効能・効果追加以降は新たな展開へ

(延面談医師数)

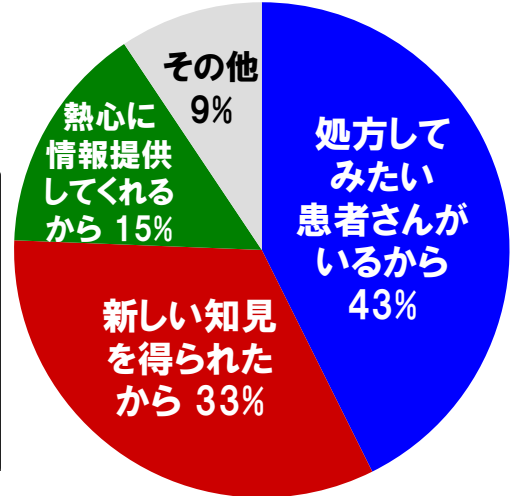
### 医師のアリセプトの今後の処方意向と理由調査\*1,2



9月19日  
効能・効果追加  
プロモーション開始

9月にアリセプトのディテールを受けた約4割の医師がアリセプトの処方を「増やすと思う」または「採用すると思う」と回答

「増やすと思う」「採用すると思う」理由 (2014年9月調査)



### 週次MRディテールランキング\*1

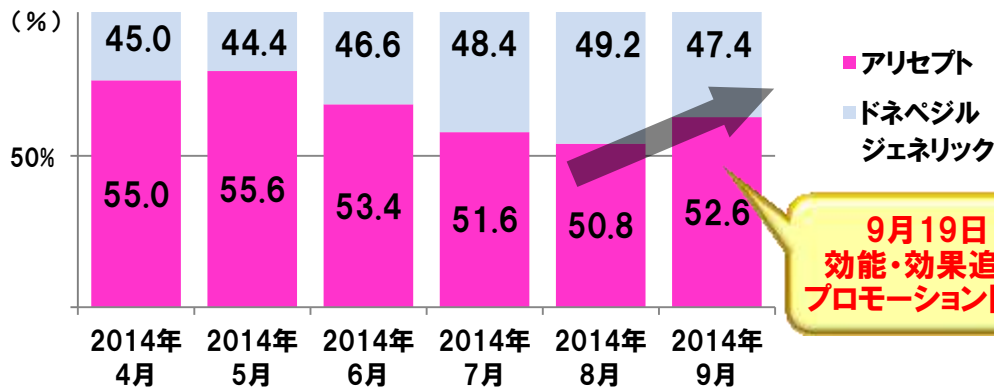
(期間:9月22日~28日)

順位	前週順位	薬剤名
1	13	アリセプト
2	1	スーグラ
3	2	アジルバ
4	3	リリカ
5	6	ジャヌビア

\*1 出典:エス・マックス株式会社調査

\*2 拡大推計値

### アリセプト 対ジェネリック比率の推移(数量ベース)\*3



9月19日  
効能・効果追加  
プロモーション開始

\*3 ©2014IMSヘルスJPM 2014年4月~9月データをもとに作成 社内推計値 無断転載禁止

# アリセプト リバイバル

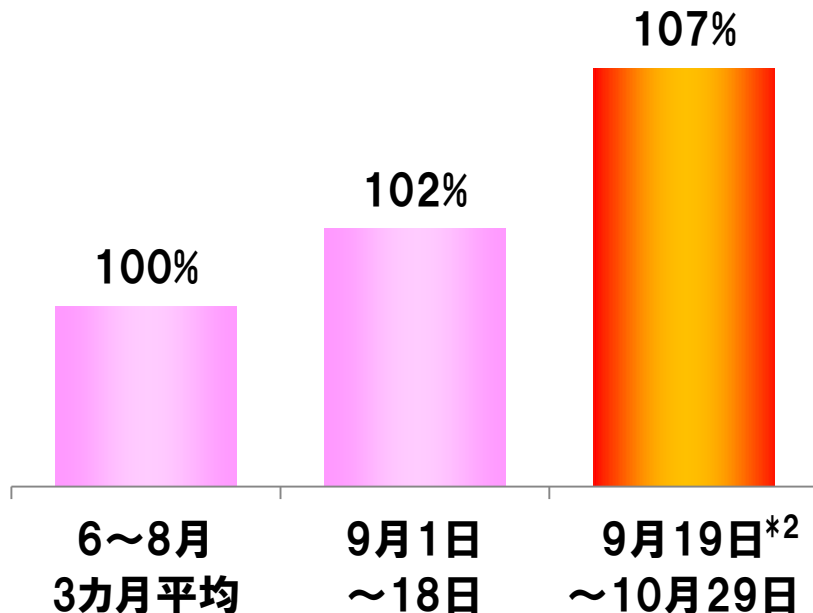


## アリセプトの物量増加により国内医薬品事業全体も上昇基調へ

### アリセプト

1実働日あたりの物量比

(レビー小体型認知症の効能・効果取得前の  
6-8月3カ月平均を100%とした場合)

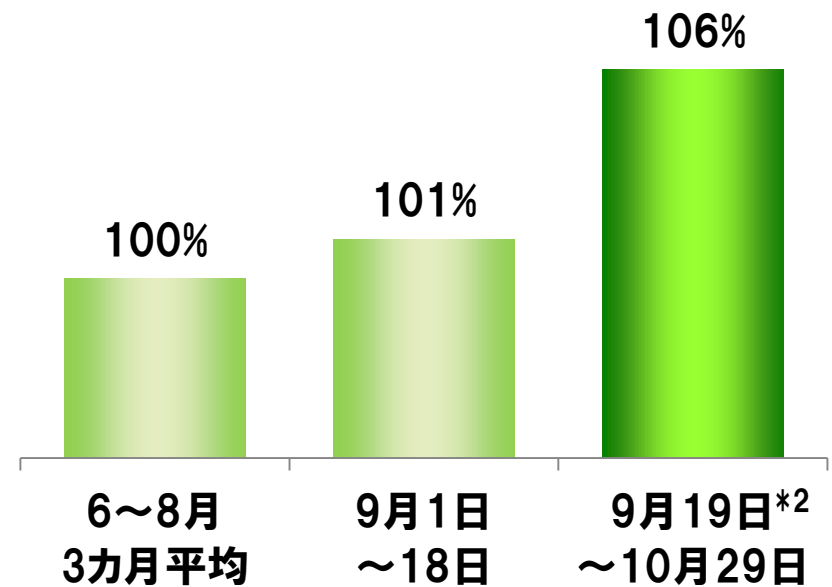


(社内推計)

### 全品目計\*1

1実働日あたりの物量比

(レビー小体型認知症の効能・効果取得前の  
6-8月3カ月平均を100%とした場合)



(社内推計)

承認後1ヶ月での医療機関の反応

### 新規採用施設数

認知症疾患医療センター8施設を含む357施設

今後、レビー小体型認知症の治療は  
ブランドアリセプトで処方意向

大学病院 108施設

認知症疾患医療センター 136施設

その他医療機関 8,024施設

既に16,000人を超える  
レビー小体型認知症の患者様に処方開始



## レビー小体型認知症の効能・効果追加による新展開

疾患啓発用ポスター

今後の新展開

認知症の合図は、  
もの忘れだけでは  
ありません。

認知症の代表的な症状に「もの忘れ」があります。  
加えて、アルツハイマー型認知症では、  
時間や場所がわからない「見当識障害」などの  
症状も現れます。

また、日本人が発見したことで注目されている  
レビー小体型認知症では、

急に、ボーッとしてしまうときがある「認知機能の変動」や  
周りの人に見えないものが見える「幻視」、

筋肉のこわばりや動作が遅くなるといった「パーキンソン症状」  
なども見られます。

患者さんによっては他にもいろいろな症状が  
出てくる可能性があります。

おかしいと思ったら、

まずはお医者さんにご相談ください。

お近くの相談窓口をご案内しています。

その合図を見逃さないでください。

認知症は**早期発見と早期治療**が大切です。

監修：横浜市立大学 名誉教授 小原 重司



お近くの相談窓口をご案内しています。

認知症あないダイヤル 11-244 11-244 相談 e-65.net  
受付時間 9:00~21:00(土・日・夜も受け付けてあります)

世界の認知症に立ち向かう Eisai

**DTC<sup>\*1</sup>を活用し**  
**レビー小体型認知症の**  
**疾患認知度を早期に向上**

11~12月  
テレビスポットによる  
疾患啓発放映予定

1~3月  
認知症教育番組  
放映予定

講演会、説明会を積極的に開催し  
正しい診断と治療・ケアを早期に定着

2種類の認知症<sup>\*2</sup>に効能・効果を  
有するアリセプトの価値を早期に浸透

# パリエット 胃がん撲滅への貢献と新適応の追究



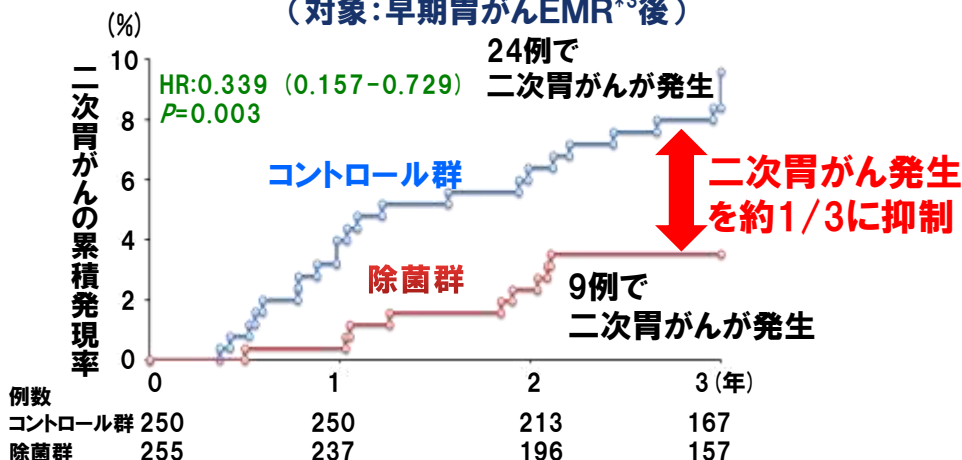
ラベキュア、ラベファイン<sup>\*1</sup>の普及と低用量アスピリン潰瘍再発抑制の新適応取得をめざす

ヘリコクター・ピロリ除菌による  
胃がん抑制効果が国内外で報告



除菌率80%以上<sup>\*4</sup>を示す  
ラベキュア、ラベファインの普及拡大

ヘリコクター・ピロリ除菌による二次胃がん抑制<sup>\*2</sup>  
(対象:早期胃がんEMR<sup>\*3</sup>後)



製剤パッケージの  
工夫が評価され  
2014年度  
グッドデザイン賞受賞

ラベキュアパック400

2014年2月の発売以来約28万5千人<sup>\*5</sup>の  
患者様のヘリコクター・ピロリ除菌に貢献



適応拡大に向けた開発の状況

低用量アスピリン投与時における  
胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制

2013年11月 申請済

国内ヘリコクター・ピロリ感染者  
約3500万人<sup>\*6</sup>の皆様に貢献拡大へ

わが国の国民病とも言われる  
胃がんの撲滅をめざす

\*1 ヘリコクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤(ラベキュア:一次除菌用製剤、ラベファイン:二次除菌用製剤)

\*2 Fukase K, et al. Japan Gast Study Group: Lancet, 2008. 372:392-397 \*3 内視鏡的粘膜切除術

\*4 Kuwayama, H. et al.: Aliment. Pharmacol. Ther. Isomoto, H. et al.: Aliment. Pharmacol. Ther. \*5 社内推計

\*6 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 ピロリ菌除菌による胃癌予防の経済評価に関する研究 平成22年度~24年度 総合研究報告書





**アリセプト リバイバル**  
レビー小体型認知症の効能・効果追加

**パリエット 患者様貢献の拡大**  
ラベキュア、ラベファイン\*の普及と新適応の追究

**オンコロジー製品、次世代品目の成長**



# BELVIQ 飛躍へ

**施策実行による処方箋枚数の伸長**

**先行指標のKPI\*の進捗**

**ポテンシャル極大化に向けたデータジェネレーション**

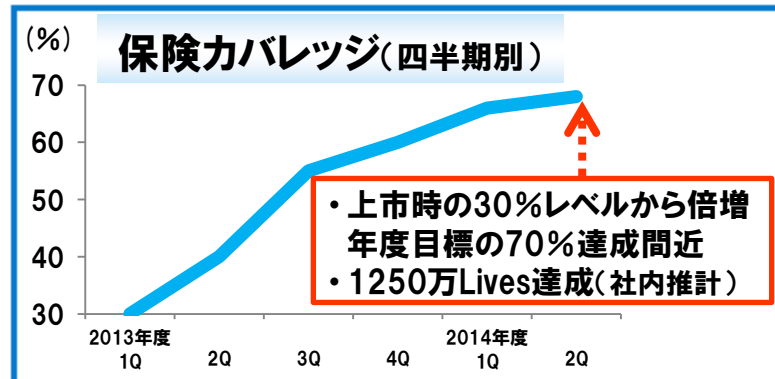
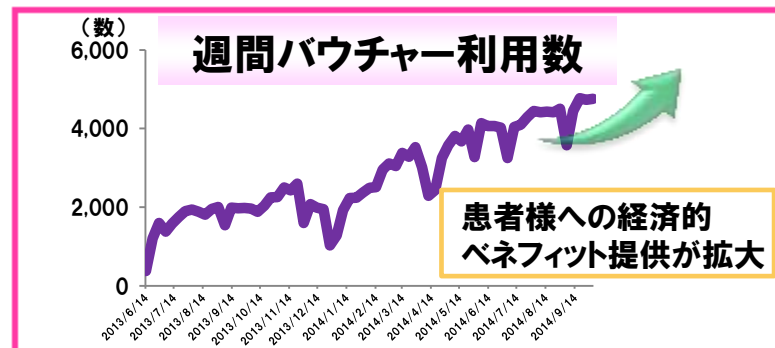
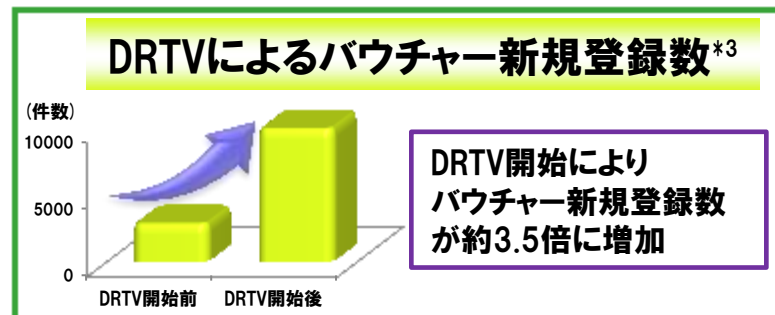
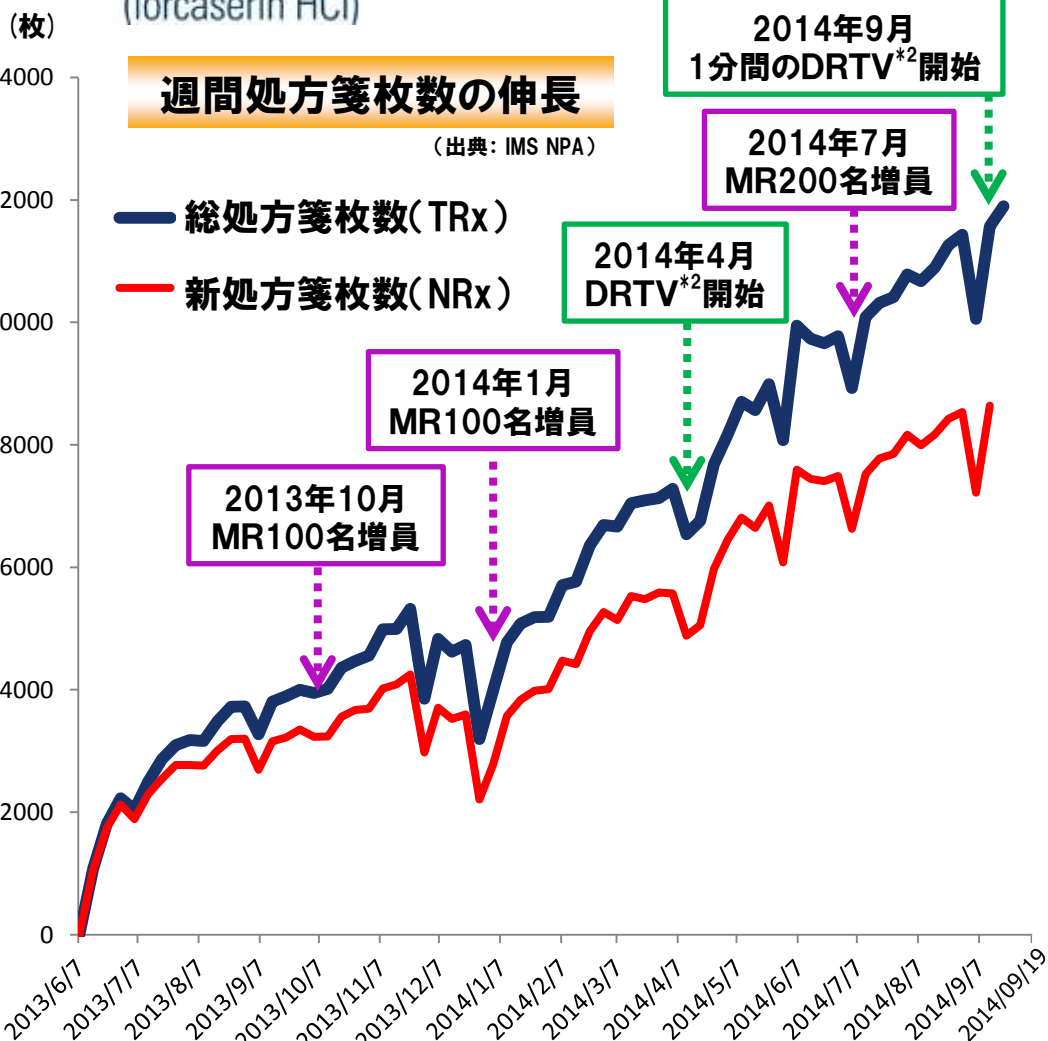
\* Key Performance Indicators

# BELVIQ 飛躍へ



**BELVIQ®**  
(lorcaserin HCl)

## 先行指標のKPI\*1の進捗

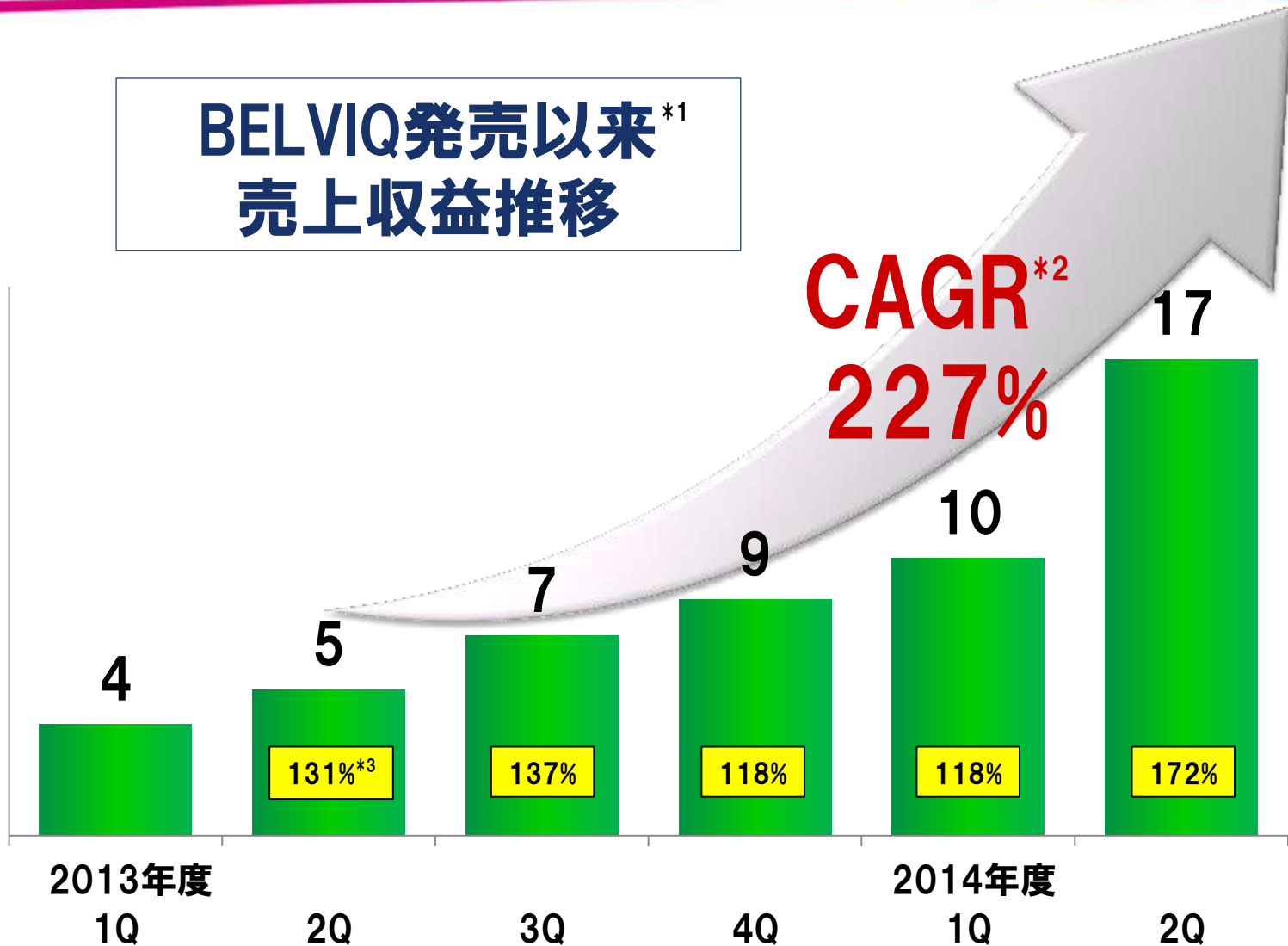


# BELVIQ飛躍へ



## BELVIQ発売以来<sup>\*1</sup> 売上収益推移

(億円)



\*1 2013年6月発売

\*2 Compound Annual Growth Rate : 2013年度2Qから2014年度2Qの年平均成長率(円貨ベース)

\*3 黄色枠内の数値は前四半期比

## ポテンシャル極大化に向けたデータジェネレーション

**フェンテルミン  
との併用療法  
肥満症**

**12週間投与による安全性と忍容性を確認**

**11月6日 肥満症学会の  
Late-breaking poster sessionにて発表予定**

**心血管アウトカム試験  
2014年1月開始**

**長期にわたる心血管への安全性の確立と  
新適応の追究**  
(2型糖尿病、2型糖尿病発症リスク抑制、心血管系ベネフィット)

**禁煙適応**

**フェーズII試験のトップライン結果を  
間もなく発表予定**

# 米国 Fycompaの成長へ



自社創製のファーストインクラスの非競合型AMPA受容体拮抗剤

部分てんかん

2014年1月2日米国で上市

Fycompa®  
perampanel

全般てんかん\*1

フェーズIII試験(332試験)主要評価項目を達成

米国申請用主要評価項目  
発作頻度変化率

EU申請用主要評価項目  
発作頻度50%減少達成率

2014年8月米国・欧州で申請を達成

米国てんかん学会\*2でLate Breaker Newsとして発表予定(12月5日-9日、シアトル)

部分てんかん、全般てんかん\*1の承認取得によりてんかん患者様の約8割\*3に貢献可能へ

部分てんかん、全般てんかんのシナジーによる米国 Fycompaの飛躍

\*1 全般てんかんの最も重篤な発作型の一つである強直間代発作(二次性全般化発作を除く、PGTC)

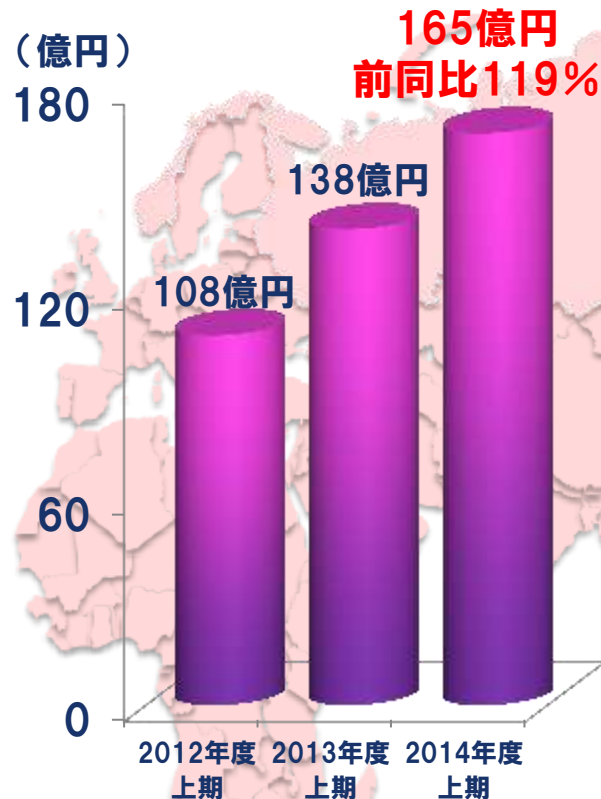
\*2 The American Epilepsy Society

\*3 Fycompaの現適応は併用療法のみ

# Halavenの急進拡大とAkyntzeo承認取得



## Halaven グローバル売上推移



**米国 Halaven 上期売上収益75億円(前同比117%)達成**

**ASCO<sup>\*1</sup>ガイドラインにおいてエキスパートの推奨を獲得**

2014年9月に発行されたASCOガイドラインにおいて305試験(EMBRACE試験)で証明された全生存期間(OS)改善効果がセカンドライン以降のHER2ネガティブ/HR+転移性乳がん治療でエキスパートコンセンサスに基づき強く推奨された

**米国 Akyntzeo 10月 承認取得**

**がん化学療法に伴う悪心・嘔吐に関与する2つの重要な神経伝達経路をターゲットにした新規の経口制吐剤 (CINV<sup>\*2</sup>)**

Netupitant / ニューロキニン受容体拮抗剤

Palonosetron (Aloxi<sup>®</sup>) / セロトニン3受容体拮抗剤の配合剤

- 初めて承認されたCINV適応の配合剤
- 初めて過去5年間で新規化合物(NCE)として承認されたCINV製品
- 初めて5年間のデータ保護期間を獲得した配合剤<sup>\*3</sup>

**欧州・アジア Halaven**

**FOPC<sup>\*4</sup>の承認取得**

- 2014年6月、FOPCに関する承認を取得
- 英、独、北欧5カ国<sup>\*5</sup>、オーストリアで情報提供開始
- タイ(8月)、フィリピン(9月)、香港(10月)において承認取得

## Halavenの価値最大化プロジェクト

**軟部肉腫**

**フェーズIII試験が順調に進行中**

**2014年度内にトップライン結果取得見込み、2015年度申請予定**

\*1 American Society of Clinical Oncology \*2 Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting \*3 新規化合物であるNetupitantとの配合剤のため、5年間のデータ保護期間を取得  
\*4 Following One Prior Chemotherapy (転移性乳がん2ndライン治療) \*5 ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、アイスランド



# 米国医薬品事業の成長



## BELVIQ 飛躍へ

処方箋の伸長、先行KPIの進捗、エビデンス創出



## Fycompa 成長へ

部分てんかん、全般てんかんのシナジーによる成長



## Halaven さらなる拡大へ

売上収益 上期75億円(前同比117%)\*<sup>1</sup>達成  
通期業績見通し155億円\*<sup>2</sup>に向けて順調な進捗



## Akynzeo\*<sup>3</sup> 承認取得

2つの重要な神経伝達経路を  
ターゲットにした新規の経口制吐剤

\*1 米国医薬品事業の実績 \*2 アメリカス医薬品事業の通期業績見通し  
\*3 Netupitant(ニューロキニン受容体拮抗剤)、palonosetron(Aloxi、セロトニン3受容体拮抗剤)の配合剤



# Lenvatinib

## Enormous Potential

**新規な結合様式により、3つの分子: VEGFR+FGFR+RET\* の活性を特異的に阻害することで、速やかに卓越した治療効果を長期にわたり患者様にお届けすることのできる分子標的治療薬**

**Tri-Specific Targeted Therapy to VEGFR+FGFR+RET\*  
Engineered with New Kinase Binding Mode to Deliver Rapid,  
Pronounced and Durable Response that Matters to Patients**

\* 承認されれば、VEGFR、FGFR、RETの3つの分子を同時に阻害するのはLenvatinibが世界初となる



# Lenvatinib

## Enormous Potential



### 甲状腺がん

#### 申請達成

日本6月、欧米8月

2014～2015年度  
にグローバル承認  
を見込む

放射性ヨウ素  
抵抗性分化型  
甲状腺がんの  
無増悪生存期間を  
顕著に改善

### 肝細胞がん

#### フェーズIII

2016年度  
申請予定

ソラフェニブとの  
head-to-head  
フェーズIII試験  
(304試験)が  
順調に進行中

### 非小細胞 肺がん

フェーズIII試験  
に向けて  
戦略策定中

・単剤療法による  
フェーズII試験(703  
試験)で良好な結果  
・免疫チェックポイント  
阻害剤との併用を  
検討中

### 子宮内膜がん

#### フェーズII

腎細胞がん  
フェーズII

適応拡大に向け  
戦略を検討中

難治性甲状腺がん治療のゴールドスタンダード薬をめざし、  
ポテンシャルを有する成功確度の高いがん種、単剤療法並びに併用療法に  
積極投資することで開発を加速させ、抗がん剤治療のパラダイムチェンジを興す

# Lenvatinib グローバルデビューへ

## 日米欧3極におけるオーファン、優先審査指定\*1



### 日本

- 2012年8月 **オーファンドラッグ指定(優先審査対象)**
- 2014年6月 PMDAへ申請

### 米国

- 2012年12月 **オーファンドラッグ指定**
- 2014年8月 FDAへ申請
- 2014年10月 **Priority Review granted**  
PDUFA\*2アクション・デート:2015年4月14日  
通常審査に比べ4カ月の短縮

### 欧州

- 2013年4月 **オーファンドラッグ指定**
- 2014年7月 **Accelerated Assessment agreed**
- 2014年8月 EMAへ申請

### スイス

2013年3月 **オーファンドラッグ指定**  
2014年8月 **Accelerated Procedure approved**

### カナダ

2014年12月 申請予定

### シンガポール

2014年11月 申請予定

### 韓国

2014年12月 申請予定

ロシア、オーストラリア、その他の国々で2014年度から2015年度にかけて順次申請予定

# 2015年度以降の飛躍に向けた 3つの領域への資源投入



## 4グローバルブランドに資源投入 Halaven、Fycompa、BELVIQ、Lenvatinib\*

## 8パイプラインに資源投入

Halaven: 天然物由来の微小管ダイナミクス阻害剤

Lenvatinib: 新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤

Fycompa: AMPA受容体拮抗剤

BELVIQ: 選択的セロトニン2C受容体作動剤

BAN2401: 抗アミロイドβプロトフィブリル抗体(アルツハイマー型認知症)

E2609: βセクレターゼ(BACE)阻害剤(アルツハイマー型認知症)

E2006: オレキシン受容体阻害剤(不眠症)

Avatrombopag: トロンボポエチン受容体作動剤

(手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症)

## 6つの国・地域へ資源投入

カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、オーストラリア、アジア

# 2014年度 連結業績見通し(IFRS)



(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前同比
売上収益	5,995	100.0	5,660	100.0	94
売上原価	1,947	32.5	2,000	35.3	103
売上総利益	4,048	67.5	3,660	64.7	90
研究開発費	1,363	22.7	1,215	21.5	89
販売管理費等*1	2,021	33.7	1,915	33.8	95
営業利益	664	11.1	530	9.4	80
当期利益	385	6.4	350	6.2	91
Pharma EBIT*2	2,027	33.8	1,745	30.8	86
EPS(円)	134.1		122.4		91
ROE(%)	7.6		6.7		
DOE(%)	8.5		8.2		
配当金(円)	150		150		

\*1 販売管理費等:販売管理費+その他の損益 \*2 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

2013年度期中平均レート 米ドル:100.23円、ユーロ:134.36円、ポンド:159.44円、2014年度期中平均予想レート 米ドル:103円、ユーロ:140円、ポンド:170円

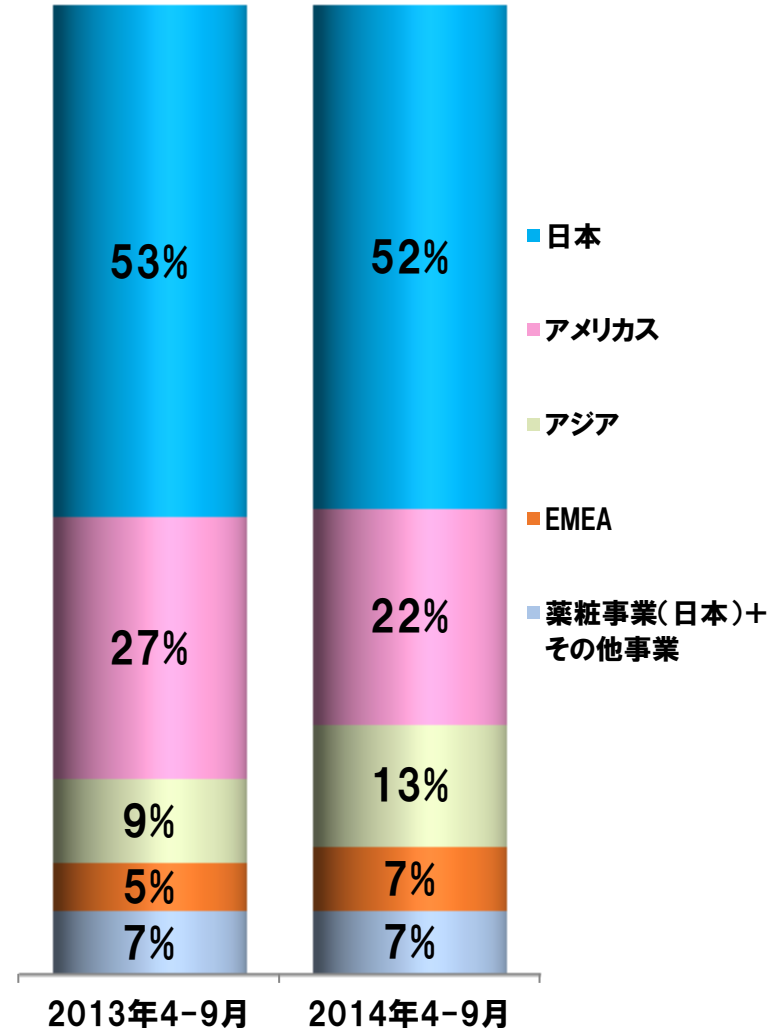
# 参考資料

# セグメント売上収益



(億円、%)

	2013年4月－9月		2014年4月－9月		
	売上収益	構成比	売上収益	構成比	前同比
日本*1	1,600	52.6	1,396	51.9	87
アメリカス*2	813	26.7	599	22.3	74
アジア*3	281	9.2	338	12.6	120
EMEA*4	151	5.0	181	6.7	120
薬粧事業(日本)*5	95	3.1	85	3.2	89
報告セグメント計	2,941	96.6	2,599	96.6	88
その他事業	103	3.4	91	3.4	88
連結売上収益	3,045	100.0	2,691	100.0	88



日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

\*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン等

\*5 一般用医薬品

\*2 北米、中南米

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア



# セグメント利益



(億円、%)

	2013年4月-9月			2014年4月-9月			
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比
日本*1	833	72.8	52.0	623	72.4	44.6	75
アメリカス*2	165	14.4	20.2	84	9.7	14.0	51
アジア*3	69	6.0	24.6	93	10.8	27.4	134
EMEA*4	16	1.4	10.3	31	3.6	17.1	199
薬粧事業(日本)*5	18	1.5	18.5	5	0.5	5.3	26
報告セグメント計	1,099	96.2	37.4	835	97.1	32.1	76
その他事業	44	3.8	42.2	25	2.9	27.2	57
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△694			△679			
連結営業利益	449		14.7	180		6.7	40

日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業

\*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

\*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

\*2 北米、中南米

\*5 一般用医薬品

\*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン等

# 日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2013年4-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	1,600	100.0	1,396	100.0	87
医療用医薬品計	1,463	91.4	1,243	89.0	85
アリセプト	356	22.2	242	17.3	68
パリエット*1	251	15.7	192	13.7	76
ヒュミラ	144	9.0	149	10.6	103
メチコバル	133	8.3	115	8.2	86
リリカ*2	85	5.3	98	7.0	116
ワーファリン	51	3.2	45	3.2	88
アクトネル	41	2.6	34	2.4	82
ハラヴェン	33	2.0	30	2.1	91
セルベックス	36	2.2	25	1.8	69
ルネスタ	12	0.7	21	1.5	179
ジェネリック医薬品	108	6.8	125	8.9	115
診断薬	29	1.8	28	2.0	97
セグメント利益	833	52.0	623	44.6	75

\*1 ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキア400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含む

\*2 アライアンス収入

# アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2013年4-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	813	100.0	599	100.0	74 [71]
Aloxi	214	26.3	236	39.3	110 [106]
ハラヴェン	65	8.0	76	12.8	118 [113]
アシフェックス	306	37.6	67	11.2	22 [21]
Banzel	32	3.9	45	7.5	140 [134]
BELVIQ	9	1.2	27	4.6	293 [282]
Fycompa	0	0.0	5	0.8	3192 [3081]
セグメント利益	165	20.2	84	14.0	51 [49]

[ ]内は現地通貨ベース

# アジア医薬品事業の業績



## <アジア>

(億円、%)

	2013年4-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	281	100.0	338	100.0	120 [115]
メチコバル	76	27.1	95	28.0	124 [121]
アリセプト	59	21.2	66	19.6	111 [105]
ヒュミラ	34	12.3	40	11.8	115 [106]
パリエット	27	9.7	31	9.1	113 [110]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	25	8.8	31	9.1	124 [120]
ハラヴェン	1	0.5	5	1.5	339 [324]
セグメント利益	69	24.6	93	27.4	134 [127]

[ ]内は現地通貨ベース

## <中国>

(百万RMB、%)

	2013年4月-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	932	100.0	1,143	100.0	123
メチコバル	403	43.2	491	43.0	122
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	151	16.2	182	16.0	121
アリセプト	111	11.9	134	11.7	120
パリエット	62	6.7	79	6.9	127

# EMEA医薬品事業、薬粧(一般用医薬品等)の業績



## <EMEA\*>

(億円、%)

	2013年4-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	151	100.0	181	100.0	120 [112]
ハラヴェン	39	26.0	53	29.5	136 [127]
ゾネグラン	32	20.9	39	21.5	123 [114]
Zebinix	11	7.4	15	8.3	136 [126]
Fycompa	7	4.6	11	5.8	151 [139]
イノベロン	9	5.9	10	5.8	118 [109]
セグメント利益	16	10.3	31	17.1	199 [186]

\* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[ ]内は現地通貨ベース

## <薬粧-日本>

(億円、%)

	2013年4-9月		2014年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	95	100.0	85	100.0	89
チョコラBBグループ	63	65.9	56	65.6	89
セグメント利益	18	18.5	5	5.3	26

# 2013年度第2四半期連結業績 IFRS導入の影響



(億円)

	売上 収益	売上 原価	研究 開発費	販売 管理費	その他 損益	営業 利益	営業外 損益 特別損益	金融 損益	税金 費用	四半期 利益
日本基準	3,075	933	704	1,084	-	354	36	-	112	277
販売奨励費の販売管理費から 売上控除への調整	△9			△9		-				-
導入品に係る販売権償却費の 追加計上		5				△5			△2	△3
導入品に係る契約一時金 およびマイルストンの資産化			△23			23			9	14
のれんの非償却化				△47		47				47
為替差損の振替					△6	△6	6			-
固定資産売却益の振替					30	30	△30			-
受取利息・配当金および支払利息の振替						-	21	△21		-
投資有価証券売却益(特別利益)の振替						-	△25	2	△9	△14
その他	△21	△5	△3	△14	5	6	△7	△2	14	△17
調整計	△30	0	△26	△70	29	95	△36	△20	12	27
IFRS	3,045	933	678	1,014	29	449	-	△20	123	305